

事項九　日中軍事協定廢棄ニ闕スル件

五五五　四月二日

在成都國原總領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

日中軍事協定撤廃ニ闕スル広東軍政府宛四川督軍ノ

意見報告ノ件

往信第三一号

大正九年四月二日

(五月三日接受)

在成都

總領事館事務代理　國原喜一郎(印)

外務大臣子爵　内田康哉殿

本月一日軍政府ニ宛テタル熊督軍ノ日支軍事協定ニ闕スル意見別紙ノ通りニ有之候間御查閱相成度此段申進候　敬具
本信写送付先　在文公使

(別紙)

四川督軍熊克武ノ日中軍事協定撤廃意見

日支軍事協定ハ本ト何等締結ノ理由ナキモノナルカ独塊ニ
藉口シ秘密ニ調印ヲナシタルモノナルヲ以テ歐戰終了ト共
ニ廃棄スヘキモノナルニ復タ露国ノ内乱ニ詞ヲ託シ秘密ニ
之ヲ延長セリ然ルニ最近対露関係転移シ該協定継続ノ必要

ナキニ至レリ軍政府ハ屢々之カ撤廃ヲ電商セシモ北京外交
當局ハ置テ問ハサルモノノ如シ群疑發生輿論震駭ス查スル
ニ該協定カ國權ヲ喪失シ國禍ヲ釀成スルコトニ闕シテハ曩
ニ屢次陳述セルヲ以テ茲ニ贅セス今ハ惟我国ハ尚露國ノ内
亂ニ干渉スルノ必要アリヤ否ヤ及軍事協定ハ尚存続ノ理由
アルヤ否ヤヲ問ハントスルノミ正義ヲ以テ云ヘハ露國ノ内
政ニ涉及スヘカラス利害ヲ以テ云ヘハ露國人ノ感情ヲ損
傷スヘカラス且内、國力ヲ顧ミルニ自保已ニ難シ近年來未
タ露亂ニ干渉セルノ実ナキニ拘ハラス徒ニ其名ヲ負フ其損
失言ハスシテ明ナリ當時ハ事勢ニ迫マリ協商各國ト一致ノ
行動ニ出テサルヲ得サリシモノトスルモ英米仏伊ハ前後撤
兵シ且露亂ニ干渉セサルコトヲ宣言シ倫敦會議ハ竟ニ露國
ト通商ヲ行フコトニ決シ且勞農政府ヲ承認セントスルノ説
アル今日ニ於テ尚西比利亜問題ニ関シ因循決セサルハ全ク
日本政府ニ依レルカ為ニシテ我国若シ英米仏諸國ト常ニ一
致ノ行動ヲ採ルトセハ露國ノ内乱ニ干渉スルヤ否ヤハ已ニ
問題トナラス從テ從前露亂ニ因リ効力ヲ延長セシ軍事協定

ハ露國ノ内亂ニ干渉ヲ再ヒセサル今日ニ於テ之カ存続ノ必
要ナシ且日本政府ニ於テモ獨リ列國ト異ナル態度ニ出テ露
國ニ怨ヲ構フルヲ敢テスルヲ必セサルヘク日本カ因循決セ
サルモノハ或ハ露人ニ遂クルヲ得サルノ宿怨ヲ挙ケテ我ニ
倍加取償セントスルニアルヤモ計リ難ク新紙伝フル所ニ拋
レハ日本ハ露人ニ対シ支那ニ於ケル露國ノ権利ヲ譲渡ゼン

コトヲ要求セリト聞ク右ハ未タ事実ニ徵シ難キモ亦因ナキ

ニアラス事前予防ノ計ヲ為サント欲セハ正ニ軍事協定ノ層
々束縛ヲ顧及セサルヲ得ス单ニ該協定カ藉リテ以テ効力ヲ
延長セル対露關係ニ付テ云フモ該協定ノ撤廃主張ハ理ニ於
テ已ニ正当ニシテ一日モ躊躇スヘカラス然ルニ我國ノ对外
交渉ヲ歴観スルニ何等確定セル方針ナン若シアリトセハ日
本ニ隨テ転移シ自ラ其國ヲ鬻キ自ラ其權利ヲ割剝シ以テ益
日本ノ東亜ニ於ケル特殊ノ地位ヲ鞏固ナラシムルノミ方今
本ニ隨テ転移シ自ラ其國ヲ鬻キ自ラ其權利ヲ割剝シ以テ益
シテ已ニ制止シ難ク國家ノ存亡此ニ決セン切ニ望ム軍政府
セント欲スルニ於テハ協定存続ニ付テハ巧ニ名目ヲ藉リ強
テ弁護ヲナスニ難カラス然ルニ今ヤ国人反対ノ声愈激烈ニ
ハ実ニ痛心ニ堪ヘス北京外交當局若シ強テ日本ニ隨テ転移

セント欲スルニ於テハ協定存続ニ付テハ巧ニ名目ヲ藉リ強
テ弁護ヲナスニ難カラス然ルニ今ヤ国人反対ノ声愈激烈ニ
シテ已ニ制止シ難ク國家ノ存亡此ニ決セン切ニ望ム軍政府

第三一〇号

(在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報))

五五六　四月三日　　中國南北統一ニ日中軍事協定廢棄ノ必要ニ付徐維繪

其他談話ノ件

一ヲ希望セラル日本政府ニ於テ該協定ノ廃止ヲ支那政府ニ対シ聲明セラレ右ノ次第ヲ北方ヨリ南方ニ通告セバ上海會議ハ直ニ開会シ南北統一モ実行セラレ日本ニ対スル一般ノ誤解モ解カルル次第ニ付日本政府ニ於テ一日モ速ニ右考量ヲ仰ギタシト述ベタリ依テ本官ハ該協定ハ最近日本ガ声明セル如ク西比利撤兵ノ時期ニ至ラバ自然其ノ必要ナキニ至ル可ク該協定廃止モ時期ノ問題ニ過ギズト認ムル旨答へ置ケリ尚巴里ヨリ帰レル劉崇傑モ過日本官ニ対シ日支軍事協定ガ南北統一ノ障害トナリ一般ニ甚ダ不評判ナルニ付寧ロ廃止シテ支那國民ノ誤解ヲ解カルル方得策ナル可シト内話セルコトアリ要スルニ該協定ハ支那一般ニ氣受ケ宜シカラズ種々誤解セル所鮮カラズト認ム已ニ當局ニ於テ相當御考量ノコトトハ信スルモ御参考迄上海ヘ郵送セリ

五五七 四月十七日 在中国小幡公使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

中國西南側ノ日中軍事協定廢棄ノ要望ニ対シ我方モ

考慮ヲ払ヒ可然旨稟申ノ件

第三五一号

日支軍事協定ノ存立ハ久シク西南側一般疑惑猜疑ノ焦点トナリタルコトハ御承知ノ通りニテ之ガ廢棄ハ南方絶対唯一ノ希望ナル處最近入京シタル南方代表秘書唐寶鍔ノ如キモ本使ニ対シ極力右ノ如キ陳述ヲナセリ之ヨリ先西南軍政府ハ北京ニ対シ南北和議再開ノ条件トシテ同協定ノ廢棄ヲ電請シ來リ最近又貴州ノ劉督軍四川ノ熊督軍ヨリモ同様ノ電請アリタルニ対シ斬國務總理ハ夫々各國ノ在露軍隊ノ引揚ゲタル今日支那モ同一行動ニ出ヅベク同部隊撤退セルノ日ハ乃チ軍事協定ノ効力終期ナル旨ヲ（脱）ヘ置キタル處処ネテ岑、陸、唐、林四總裁ノ名義ニテ各國ノ撤兵シタル今日支那モ速ニ撤兵スベク且日本ハ協定ヲ口実トシテ其ノ軍隊ヲ北満ニ移駐スルノ虞アリ要スルニ政府ハ如何ニ弁解スルモ明白ニ軍事協定ヲ廢棄セザル限り全國ノ疑惧ヲ去ル能ハザル旨ヲ打電シ来レル由ナリ往電第三一〇号ノ次第モ有之公信第一〇六号及機密第一五五号ト併セ御参照ノ上相当ノ考慮ヲ払ハレ然ルベキモノト認ム

五五八 五月二十八日 潤潮軍參謀長（ヨリ）
福田參謀次長宛（電報）

中國軍ノシベリア撤退ニ鑑ミ日本ハ日中軍事協定廢

棄ノ交換条件トシテ北満駐兵ノ繼續ヲ確保シ度旨稟申ノ件

浦參謀第四六一号

今回支那軍ハ哈市ニ駐屯ノ部隊ヲ撤退セシメタルヲ始メトシ哈府、尼市ノ鐵道守備ヲ撤シ之ヲ尼市ニ集結シ中央政府ノ命令ヲ以テ本国帰還ノ途ニ上ルベキ旨通告シ來タレリ尚聞ク所ニ依レバ尼市「ボグラニチナヤ」間ノ鐵道守備隊モ早晚「ボグラニチナヤ」ニ集合ヲ企図シアルガ如シ

シムルノ手段ヲ講ジタキ希望ナリ但シ支那側ニテ此交換条件ニ応セザルニ於テハ飽クマデ軍事協定第四条ニ依リ当然駐兵ノ保留シ得ベキモノト主張ス

五五九 八月二十日 在中国小幡公使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

東武官ガ北満駐兵及日中軍事協定繼續ニ關シ中國當局へ説明セリトノ北京電報ニ付問合ノ件

第四七五号

報知新聞北京電報ニ拵レハ東少將ハ支那當局ニ對シ日本ノ北満駐兵ニ關聯シ日支軍事協定ハ尚當分之ヲ繼續スヘキ旨説明セリトノコトナル處此際軍事協定ヲ援用スルコト得策ナラサルハ往電第三五九号ニテ指摘シ置キタル通りニテ同少將ニ於テ前記ノ如キ説明ヲ与ヘタリトハ思考セラレス固ヨリ何等カノ誤伝トハ信スルモ為念何分回電アリタシ

三、然ルニ彼ハ何等カノ口実ヲ以テ速カニ軍事協定廢止ニ苦心シアル場合ナレバ支那軍西比利亞撤退ハ再ビ該協定廢棄問題トシテ擡頭シ引イテハ我北満駐兵ニモ多少ノ制限ヲ加ヘントスルニ至ルナキヲ保セズ故ニ此時期ニ於テ寧我ヨリ進ンデ該問題解決ヲ提議シ協定廢止ノ交換条件トシテ改メテ北満ニ於ケル我駐兵ヲ一層徹底シタル意味ニテ承認セ

五六〇 八月二十一日 在中国小幡公使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

東少將ガ日中軍事協定繼續ニ關シ當局へ説明セリト
ノ新聞報道ハ事實無根ナル旨回電ノ件

九 日中軍事協定廢棄ニ關スル件 五五九 五六〇

貴電四七五号ニ閔シ為念今少将ニ確メタルニ全然然ル事實無キ趣ナリ尚昨今全少将ガ軍事協定継続ヲ支那側ニ申込みタリトノ記事漢字新聞ニ掲載サレ居ル為全少将ヨリ右ニ関シ其ノ筋へ詳細ノ説明電報シタル趣ニ付詳細ハ右御取り寄せ御覽ヲ請フ

五六一 九月三日 在北京坂西少将ヨリ

上原參謀總長宛(電報)

我方ガ自発的二日中軍事協定取消ヲ声明スル案ニ付

斬總理ト内談ノ件

坂極秘電第七九号

今三日朝日支軍事協定取消ヲ我ヨリ自発的ニ声明シ宣伝ト共ニ人心ヲ新ニスル一端タラシムヘキ卑見ヲ具申シタル後九月一日東少將宛テ參謀次長發電報第一四八号ノ回覧ヲ受ケ軍事協定廢止ノ件ハ大體内定セラレアリトノ事ナルニ付今日午後斬總理ト会談ノ際小官個人ノ意見トシテ斬ト左ノ如キ問答ヲ為セリ

問 外間伝フル所ニ依レハ軍事協定取消モ南北統一ヲ進ム

ル一条件ナルカ如シ果シテ然ルヤ

答 然リ故ニ善ク貴國ヨリ自働的ニ其ノ取消ヲ声明セラレ

右ニ依リ斬總理ハ形式上我カ自決ニヨリ軍事協定ノ取消ヲ希望シ而シテ事實上帝國ヲシテ不便ヲ感セシメサルコトヲ覺悟シ居ルヤ明ラカナリ

要スルニ此ノ際突然支那側ノ要求ヲ受ケサル以前ニ於テ取消ヲ声明シ而モ帝國ノ直接ニ惡影響ヲ及ボサシメサル取極ハ兩國政府間ニ於テハ單ニ其ノ主義ノミヲ約定シ細部ニ至リテハ出先官憲相互ノ理解ニ依リ実施上不便ナカラシムル如クシ再ヒ密約締結ノ疑ヲ生セシメ政府反対者若シクハ歐米人等ヲシテ排日鼓吹ニ利用セシメサル如ク予メ講究準備セラルル必要アリト信ス

可ナリ云々

右ニ依リ斬總理ハ形式上我カ自決ニヨリ軍事協定ノ取消ヲ

希望シ而シテ事實上帝國ヲシテ不便ヲ感セシメサルコトヲ

要トスルモ之ニ対スル貴見如何

答 其レ等ハ事實上貴國ノ便利ナル如ク別ニ取極ヲ為セハ

可ナリ云々

要スルニ此ノ際突然支那側ノ要求ヲ受ケサル以前ニ於テ取

消ヲ声明シ而モ帝國ノ直接ニ惡影響ヲ及ボサシメサル取極

ハ兩國政府間ニ於テハ單ニ其ノ主義ノミヲ約定シ細部ニ至

リテハ出先官憲相互ノ理解ニ依リ実施上不便ナカラシムル

如クシ再ヒ密約締結ノ疑ヲ生セシメ政府反対者若シクハ歐

米人等ヲシテ排日鼓吹ニ利用セシメサル如ク予メ講究準備

セラルル必要アリト信ス

五六二 九月四日 在中國小幡公使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道沿線駐兵ト引離シ速ニ二日中軍事協定廢棄ヲ

声明スルノ要旨具申ノ件

第九三二号

最近參謀次長發東少將宛來電ニ依レハ帝國政府ニ於テハ支

那政府ヲシテ哈爾賓以南及ヒ以東ノ駐兵ヲ認メシメ軍事協

定ノ廢棄ヲ声明セラレムトスル意嚮ナルカ如ク認メラル

處軍事協定ノ不人氣極マルコト及ヒ之カ内外人疑惑ノ焦点

タルコト並ニ可成早ク之カ廢棄ヲ声明スルノ必要ナルコト

ハ既ニ本使ヨリ度々稟議ニ及ヒタル次第ナルカ右協定ニ對

スル世人ノ疑惑ハ今尚斯クノ如ク支那政府ニ於テモ頗ル其

ノ処置ニ窮シ居ル際ニ付本件ハ此ノ際帝國政府ニ於テ東支

沿線駐兵ト引離シ速ニ之カ廢棄ヲ声明シ以テ目下日支間ニ

蟠レル不愉快ナル人心ヲ一新スルノ拳ニ資シ併セテ支那新

内閣ノ急場ヲ緩和スルコト然ルヘシト思考ス東支沿線駐兵

ノ件ハ既ニ本使ヨリ両回モ公文ヲ以テ支那政府ニ申入レタ

ル關係アリ且斬雲鵬モ坂西少將ニ對シテ何トカ了解ヲ求

ルヘシト答ヘタル趣ニ付篤ト御一考相煩シタシ万一軍事協

定廢棄ノ交換トシテ日本カ東支駐兵ノ協定若クハ了解ヲ求
メ居ルコト外間ニ漏ルルニ於テハ又復疑惑ヲ増シ之カ為メ
軍事協定廢棄ノ効果ヲ全滅シ支那政府ヲシテ益々窮地ニ陥

ラシムルノ虞アリト御承知ヲ請フ猶九月三日坂西発參謀總長宛極秘(註)第七八号及ヒ第七九号御參照アリタシ

註 坂西発參謀總長宛第七八号ヲ省略セリ

五六三 九月七日 在中國小幡公使宛(電報)

軍事協定廢止ノ意向ヲ以テ其方法手續等講究中ナル

旨内報ノ件

第五〇九号

貴電第九三二号ニ閔シ帝國政府ハ軍事協定廢止ノ意向ヲ以テ目下其ノ方法手續等其筋ニ於テ講究中ナリ素ヨリ東支沿線駐兵ノ件ハ本問題トハ關係ナク從テ右駐兵ノ承認ヲ協定廢止ノ条件トスルカ如キ意ナシ右貴官内密ノ御含迄

軍事協定廢止ニ關スル件

附記 九月十三日附參謀本部意見

一、軍事協定ハ帝國ヨリ進シテ廢止ヲ提議スルコトナク支

那側ノ提議ヲ待ツテ之ニ承諾ヲ与フ

若シ要スレハ日支両国合議ノ上撤廃スルノ形式ニ出ツ此
ノ場合ニ於テハ小幡公使ヲシテ先ツ内交渉ヲナサシム

二、目下懸案トナリアル北滿駐兵ノ件ハ軍事協定ト關係ナ
キヲ以テ別ニ之ヲ解決ス但シ愈軍事協定ヲ撤廃スル場合

ニハ現下ノ状況上我北滿駐兵ノ必要ナル所以ヲ支那側ニ
了解セシム

(附記)

九月十三日附參謀本部ノ軍事協定廢止方法ニ閔スル意見

大正九年九月十三日

參謀本部

軍事協定廢止ノ方法ニ閔スル意見

軍事協定ノ廢止ニ就テハ既ニ閣議ニ於テ決定セラレタルカ
其方法ハ左ノ要領ニ依ルヲ可トス

一、軍事協定ハ帝国ヨリ進ンテ廢止ヲ提議スルコトナク支
那側ノ提議ヲ待ツテ之ニ承諾ヲ与フ

二、目下懸案トナリ居ル北滿駐兵ノ件ハ軍事協定ト關係ナ
キヲ以テ別ニ之ヲ解決ス但シ軍事協定廢止ノ機会ニ支那
側ニ於テ之ニ言及スルカ或ハ要スル場合ニハ更メテ本問
題ニ閔スル帝國ノ決意ヲ明示ス

五六五 九月十八日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

軍事協定廢止ノ閣議決定ニ付通報並斬總理ノ内談報

告方ノ件

第五三二号

往電第五〇九号ニ閔シ軍事協定廢止ノ方法ニ閔シ九月十七
日別電第五三三号ノ通り廟議決定セリ不取敢御含迄

尚貴電第九三三号ニ拠レハ東支沿線駐兵問題ニ閔シ斬總理
ハ坂西ニ対シ別ニ何トカ了解ヲ遂クルノ途アルヘシト述ヘ
タル趣ノ處之カ具体的の方案ニ付テハ何等話合無カリシ次第
ナルヘキヤ為念何分回電アリタシ

(欄外註記) 「別電閣議ノ内容ニテハ廢止ノ方法完備セリトハ難認例之大臣公
使間ノ公文交換等ニ依リ廢止スト謂フガ如キ手段ニ出ツルノ必要
アリト思考セラルニ付本電以外更ニ追而電訓スル方可然」

註 別電第五三三号ヲ省略ス右ハ前揭閣議決定ノ最初ノ一行「軍
事協定廢止ノ方法ハ左ノ要領ニ依ル」ヲ省キタル全文ナリ
事協定廢止ノ方法ハ左ノ要領ニ依ル」ヲ省キタル全文ナリ

五六六 九月二十三日

内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道沿線駐兵問題ニ閔スル斬總理ト坂西少將ト

ノ内談ニ付回電ノ件

第一〇二三号

貴電第五三三号ニ閔シ御問合セノ点坂西少將ニ確メタル処

全少將ガ東部西比利亜方面ニ我軍ノ駐屯スル以上南滿トノ
聯絡ヲ確実ニシ置クヲ要スト述ベタルニ對シ斬總理ハ其ハ
当然ノ事ナリト答ヘタル趣ニテ坂西少將ハ當時東支鐵道沿
線駐兵トハ確実ニ指摘ハセザリシ由ナルモ本件ニ閔シ他日
問題トナル場合ニ於ケル言掛リトシ援用スル所存ニテ右程
度ノ言質ヲ取置キタルニ外ナラズトノコトナリ本使ノ見ル
所ニテハ東支沿線駐兵ノ件ハ目下何等問題トナリ居ラザル
際ニ付此際我方ヨリ強ヒテ問題トナスヲ避ケ從来ノ儘トナ
シ置キ他日何等カ支那ヨリ申出ヅルヲ俟チ一応ノ理屈ヲ述
ベ受身ノ姿ニテ問題ヲ取り扱ヒ自然ニ支那側抗議ノ鈍ルヲ
俟ツ方然ル可シト考フ今直チニ明確ナル支那ノ全意ヲ取附
クルコトハ困難ナルノミナラズ徒ラニ平地ニ風波ヲ起スノ
恨ナキニ非ズト思量ス

五六七 十一月一日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ

田中陸軍大臣宛(電報)

斬總理ヨリ日中軍事協定ヲ取消スコトトシ度旨並東

九 日中軍事協定廢棄ニ閔スル件 五六七

二角東少將ニ其意ヲ伝ヘラレタシト云ヘリ

六八七

本協定カ早晚取消サルヘキ運命ニアリテ日本政府ノ対策モ既ニ定マリ居ルコト故九月十七日閣議決定ニ基キ此際支那当局ヨリ正式申出ヲナサシメ其取消ニ応スルヲ可ナリト思考スルモ東支駐兵承認ノ文書ヲ取ルコトハ前述ノ如ク六ヶ敷コトト思ハルニヨリ斬ノ希望通り口頭上ノ諒解ニ止ムルコトニシテハ如何至急詮議ノ上何分ノ指示アリタシ

五六八 十一月九日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

軍事協定廢止シ度旨新總理申出ヲ機トシ速ニ其手続

ヲ進ムル様訓令ノ件

附記 軍事協定廢止ノ交渉開始方ニ付田中陸軍大臣ヨリ坂西少将宛電報案

第六四〇号

坂西來電ニ拠レハ斬總理ハ同少將ニ對シ此ノ際日支軍事協定ヲ廢止シタキ旨申出タル趣ノ處本件ハ往電第五三三号ノ通リ既ニ廟議ノ決定ヲ經タル所ナルニ付右斬總理ノ申出ヲ機トシ速カニ廢止ノ手続ヲ進ムルコト致度シ尤モ右廢棄ノ形式ニ就テハ元來本件協定カ当初外務大臣ト支那公使トノ交換公文ニ依リ主義上ノ了解ヲ遂ケ次テ右公文ノ有効期

軍事協定廢止ニ關スル件

大臣ヨリ坂西少將ヘ電報案

軍事協定廢止ニ關シ外務大臣ヨリ小幡公使宛（註）左記要旨ノ電報ヲ發セラレタルヲ以テ貴官ハ東少將ト協議ノ上右電報ノ趣旨ニ基キ斬總理ノ申出ヲ機トシ廢止ノ交渉ヲ進ムヘシ但シ東支鐵道沿線駐兵ノ承認ハ文書ヲ正式ニ交換スル事困難ナルヘキモ貴官ト斬總理トノ談話ヲ覺書ニテ書キ留メ個人

（附記）軍事協定廢止ノ交渉開始方ニ付田中陸軍大臣ヨリ坂西少將宛電報案

將宛電報案

第六四〇号

トシテ斬ノ認印ヲ取り置クトセハ後証トシテ有利ナルヘキヲ以テ右ノ措置ニ出ツヘシ

註 左記ハ外務大臣発小幡公使宛電報第六四〇号全文ナリ之ヲ省略ス

五六九 十一月十日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

北京ヨリノ日本通信員ノ報道ハ日中軍事協定廢止交渉ノ障礙トナルニ付通信員ニ内論シ又廢止ノ商議ヲ速ニ進ムル様訓令ノ件

第六四八号

日支軍事協定廢棄方ニ關シ斬總理ヨリ坂西少將ニ提言アリタル次第ニ付テハ今日迄貴官ヨリ何等電報ニ接セサルモ本件申出ノ動機又ハ徑路如何ニ拘ラス最近ノ機會ヲ捉ヘテ本協定廢棄ノ歩ヲ進ムルニ付テハ貴官ニ於テ素ヨリ何等御異議アルヘキ筈無シト認メ進ムテ廢棄ニ關スル形式ニ就キ

陸海軍側ノ議ヲ纏メタル上往電第六四〇号ノ通り電訓ニ及ヒタル次第ニシテ此好機ヲ利シ早急廢棄ノ手續ヲ完了スルノ適切且得策ナルハ申ス迄モ無シ然ルニ本件廢棄ニ關スル商議貴地ニ於テ開カルヘキ趣ハ逸早ク貴地発新聞電報ニ依リ

五六九 五七〇 十一月十日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
田中陸軍大臣宛（電報）

東支鐵道沿線日本駐兵ニ付中國政府ノ了解ヲ得度旨新總理ニ申入ノ件

支八〇一一

昨九日斬雲鵬ヲ訪問セシ際序ヲ以テ左ノ談話ヲ交ヘタリ軍事協定ニ就テ坂西少將ヲ招キテノ御提言ハ早速日本當局ニ打電シ概々其同意ヲ得タルコトニ坂西少將ヨリ御聞キ及

九 日中軍事協定廢棄ニ關スル件 五六九 五七〇

ヒノ通りナリ但東支鐵道東線及同南線ノ駐兵ニ関シテハ既ニ閣下ノ十分ナル御了解ヲ得アルコトハ坂西少将ヲ通シテ承知シアルモ本駐兵ハ特ニ軍事上ノ必要ヨリ生シタルモノニシテ他意アルニアラス又決シテ協定廢止ノ交換条件ニモアラス他日貴國輿論ノ反対等有リタル場合日本ノ立場ヲ明ニスル為此際右ニ関スル貴政府ノ了解ヲ得度旨申入レタル

ニ彼之ヲ首肯シテ曰ク本件ハ東三省當局ト重大ナル關係アリ其同意ヲ得ルヲ要スルヲ以テ目下説明的電報ヲ發シアリ其返電ヲ待テ明答スヘシト答ヘタリ

五七一 十一月十一日 加藤海軍大臣ヨリ
(電報) 八角在中国日本公使館附海軍武官宛

陸軍武官ト協議シ日中軍事協定廢止ノ交渉ヲ進ムル

様訓令ノ件

官房機密第三七四番電報

日支軍事協定廢止ニ關シ外務大臣ヨリ小幡公使宛訓電ヲ發セラレタルニ付貴官ハ公使ニ就キ電文知了ノ上支那在勤帝國公使館附陸軍武官ト協議シ右電報ノ趣旨ニ基キ協定廢止ノ交渉ヲ進ムヘシ

日中軍事協定廢棄ノ手続進捗決定並別個ニ北滿駐兵問題ヲ交渉スル旨内報ノ件

第五三〇号

往電第四二三号ニ關シ最近支那國務總理靳雲鵬ヨリ非公式ニ軍事協定廢棄ノ希望ヲ申出タルニ付右申出ヲ機トシ此際已定ノ方針ニ從ヒ廢棄ノ手続ヲ進捗スルコトニ決定セリ右不敢御含迄尚軍事協定ノ廢止ト同時ニ之ト條件的ニ東支沿線ニ於ケル我駐兵ニ關スル協定ヲ遂クヘシト伝フルモノ無キニ非サルモ両者ヲ關聯セシメサルハ往電第四二三号ノ通リ已定ノ方針ニ係リ右北滿駐兵ノ件ハ全然別箇ノ問題トシテ別ニ懇談ヲ遂クル筈ナリ為念申添フ

英仏伊ヘ転電アリタシ

五七三 十一月二十二日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
(電報) 山梨陸軍次官宛

東支鐵道沿線ヨリ我方ノ撤兵ヲ外交部ヨリ要求アリ

タルニ關シ内務總長張志潭ト内談ノ件 支八三九

張志潭ハ予テ孫潤宇ヲ通シテ軍事協定取消問題ニ統イテ東支鐵道東部及南部支線駐兵ノ必要ナルコトハ異存無キ旨申出テアリシニヨリ本日張志潭ニ會見シ更ニ彼ノ意見ヲ確メタル處彼ハ能ク之ヲ了解シ日本力必要上配兵シアルモノニ就テハ決シテ文句ヲ云フヘキモノニ非スト述ヘタルニ依リ貴見ハ誠ニ公平ナルモ唯外交部ニテハ未タ十分了解セラレス十九日附撤兵要求ノ如キモノ(支八三六号)ヲ送附シ来るルルハ甚タ遺憾ナル旨告ケタルニ彼モ夫ハ甚タ面白カラス予ハ不同意ナルニ依リ此ノ由外交總長ニ申シ伝フヘシト答ヘタリ

総長、大臣、浦潮、石坂、閔東濟

五七四 十二月一日

在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道沿線我方撤兵要求ノ外交總長來書ニ對シ回答振請訓ノ件

支八六九

五七五 十二月七日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ

田中陸軍大臣宛(電報)

軍事協定廢止ニ關シ日中兩國軍事代表者間ニ交換スル覺書案ニ付稟申ノ件

支八六九

日支軍事協定廢止ニ就テハ先ツ両國軍事當局ニ於テ其ノ効力ヲ失ヒタルコトヲ認定セル上外交當局カ廢止ヲ声明スル運トナルヘキニヨリ之カ実施ノ場合ニハ先ツ両國軍事代表者ノ間ニ左ノ覺書ヲ交換スルコトト致シ度シ

覚書中特ニ大正八年二月五日調印ノ協定ヲ取消ス旨ヲ加ヘタルハ現在支那ハ未タ平和条約ヲ批准シアラス且ツ日本軍ハ未タ烏蘇里地方ニ存在シアルヲ以テ此ノ有効期限協定ヲ取消ササレハ明ニ戰争狀態終了ノ時期到着セルコトヲ声明シ得サルニ至ル

軍事協定中戰争狀態終了ニ関スル承認アリ

日支両國最高統帥部ハ日支両國協同防禦ノ必要消滅シタルヲ認メ茲ニ大正八年二月五日調印ノ日支軍事協定有効期限ニ関スル協定ヲ取消シ本文書交換ノ日ヲ以テ協定第十一條第二項戰争狀態終了ノ時機ニ達シ該軍事協定ハ其効力ヲ失フモノナルコトヲ承認ス

日支両國軍事代表者調印ス

五七六 十二月十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

軍事協定廢止問題ノ促進要請並東支鐵道沿線撤兵ニ

第一三三六号

貴電第六九五号及ビ十二月十日附機密第四八二号拙信ニ関シ兩三日前張志潭ノ使トシテ孫潤宇本使ヲ來訪シ又々南方

側ヨリ日支密約ノ取消問題ヲ矢喧シク云ヒ來リ居ル次第ヲ述べ軍事協定廢止問題ノ促進ヲ希望スル趣述ベタルニ付本使ハ順序トシテ本件ニ関スル軍事當局者間内相談ノ行懸リ及ビ東支鐵道撤兵ニ関スル外交部照会ノ藪カラ棒ナリシコト語リ右ニ対シテハ既ニ拒絕ノ回答發送済ニ付此上外交部ヨリ同一ノ照会ヲ繰返サザルコトノ明確ナル諒解サヘ付ケバ軍事協定ノ方ハ何時ニテモ外交部長ト正式ノ公文取交セノ手続ヲ進メ差支ナキ次第ナル旨申聞ケタル處孫ハ其意ヲ諒シ実ハ先日ノ外交部照会ハ東支鐵道駐兵ガ軍事協定廢止ノ交換条件ナルカノ如キ世間ノ疑惑ヲ除キ且一般民論ヲ緩和スル目的ヲ以テ外交部限リニテ一応提出シタルモノニテ此上之ヲ固執スルノ意ナキハ明カナリト述ベタリ東支沿線駐兵ニ關スル諒解ノ件ハ何レ其内先方ヨリ何トカ申来ルベキニ付其節ヲ待チ軍事協定廢止ノ協議ニ入ルコトスペキ所存ナリ御含迄

五七七 十二月二十一日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
田中陸軍大臣宛(電報)

東支鐵道沿線ノ日本駐兵ニ付張作霖ノ見解問合中ナ

ル為軍事協定廢止手續遲延ノ旨ノ中國側ノ説明報告
ノ件
支第八九八号

坂極秘電一〇二
リ

日支軍事協定取消ニ關シ昨二十一日斬總理ハ左ノ如ク語レ

一、先日余晋龢來訪、軍事協定廢止手續ノ遲延ニ就キ述ヘテ曰ク東支線ニ於ケル日本ノ駐兵ニ閑シ過般秦華ヲ奉天ニ派遣シ張作霖ノ諒解ヲ求メシメタルモ未タ充分要領ヲ得ス依リテ張志潭ヲシテ長文ノ電報ヲ発シ其同意ヲ求メシメツツアリト又外交部秘書熊核一昨日來訪ノ際右駐兵ノ件ニ就テハ外交總長ハ充分諒解シアリテ陸軍部ヨリノ移牒ヲ待チツツアリト述ヘタリ依リテ中央部方面ニハ何等異存無キモノト察セラル

二、外人記者及外國武官等モ右駐兵ニ閑シテハ何等怪ミ居ラサルノミナラス當然ノコトナリト信シ居レリ

五七八 十二月二十二日 在北京坂西少將ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

斬總理ハ軍事協定廢棄ノ手續ヲ取ル様當局ニ命ジタル旨東支鐵道沿線及日本駐兵ニ付テハ口頭ノ申合ニテ充分ナル旨述ベタル件

陸同文

九 日中軍事協定廢棄ニ關スル件 五七八

小官ハ予テノ訓令ノ趣旨ニ基キ貴国外交部等ハ時トシテ總理ノ態度ニ反シタル行為ヲ敢テシ再ヒ抗議等ヲ提出シ世間ヲ騒カシ為ニ日支両國國交ノ障害ヲ來ス虞アリトテ我當局モ懸念シツツアル故此際覚書等ノ形式ニ依リ疑ヲ残サザルコトトシテハ如何ト希望ヲ述ヘタルニ対シ斬曰ク曩ニハ予一人ノ意思ヲ貴官ニ告ケタルノミニシテ外交部其他各方面トノ了解未タ完カラサリシヲ以テ間違アリシモ既ニ今日迄多數ノ日時ヲ費シ往復應酬ニ日ヲ重ネタルヲ以テ各方面ノ了解ヲ得タル次第ナレハ覚書等ノ如キ文書ノ効力ヨリモ遙

ニ有力ナリ其上予カ貴官ニ対シ斯ク言明スル以上貴官カ予ヲ疑ハサレハ貴国當局モ亦貴官ヲ疑フコトナカルヘシ

然レトモ素予ハ總理タルノ資格無キモ自己ノ關係部ニ於人物拠底ヲ歎シアルモノニシテ今日何等政治上ノ功績ヲ挙ケ得サル為貴國當局ニ信用ヲ得サルハ慚愧ノ至リナルモ苟

モ特ニ外界ヨリ来る妨害ナキ限り統一ノ目的ヲ達スルト否トハ時ノ問題ナリト信ス特ニ貴國ノ援助ニ信頼シ就中貴官等ノ直接ノ助力ヲ負ヒタリ予ハ貴官ニ対シ既往十数年ノ交ニ於テ未タ嘗テ虚言ヲ吐キタルコトナキハ恐ラク貴官ノ信スル所ナルヘク予モ亦貴官カ予ニ虚言ヲ吐クコトナキヲ確信シ居レリ云々トテ覺書ノ形式ニヨルノ必要ナキヲ主張シ寧口相互ノ了解ニ基クヲ有効ナリトセリ惟フニ斬總理ト小官トノ間ニ個人的ニ取交シタル覺書ハ斬總理個人ノ責任ニシテ斬總理在職中ニ於テノミ有効ナルヘク國際上有効ナル文書トシテ取扱ハルヘキ性質ノモノニアラサルヘシト考フ而シテ前述ノ如キ意図ヲ有セル斬總理ニ対シ強ヒテ覺書ニ調印ヲ求ムルハ徒ニ斬ヲ疑フ如キ感想ヲ与ヘ小官ノ任務遂行上ノ障害タルヘキ虞アリ依テ此ノ際ハ斬ニ言質ヲ取アリル小官ノ報告ニ信頼セラレ軍事協定取消決行セラレタシ

人物拠底ヲ歎シアルモノニシテ今日何等政治上ノ功績ヲ挙ケ得サル為貴國當局ニ信用ヲ得サルハ慚愧ノ至リナルモ苟

方訓令ノ件

坂西少将ヨリ極秘電第一〇二号ヲ以テ軍事協定廢止ニ閔スル件來電アリ何れ貴官トモ相談済ミノコトト存スルカ右ニ依レハ斬總理ハ曩ニハ外交部其他各方面トノ了解未タ完力ラサリシヲ以テ間違アリシモ今日迄多數ノ日子ヲ費シ往復鞅掌ニ日ヲ重ねタル結果各方面ノ了解ヲ得タル旨言明セシ由果シテ然ラハ必シシモ強ヒテ斬總理ノ認証ヲ取ル必要ナシト認ムルモ顔外交總長近來ノ行動ニハ兎角意外ノコト尠カラサルヲ以テ別ニ斬總理ノ所言ヲ疑フ訣ニハアラサレト事重大ナルニ依リ念ノ為メ貴官若クハ坂西少将或ハ小幡公使ヨリ顔外交總長ニ一応要領良ク本件ノ次第ヲ話シ直接其了解ヲ求メ置クコト安全ナリト思考ス依テ坂西少将トモ相談ノ上右ノ通り取計ハレタシ

五八〇 十二月二十八日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨ
福田參謀次長宛（電報）

東支鐵道沿線駐兵ニ閔シ外交總長ヘノ申入ハ差控ヘ
軍事協定廢止手続ヲ取リ度旨上申ノ件

支九一〇号 極秘

去ル二十四日発電訓ノ件ハ公使並ニ坂西少將トモ交渉シタルガ小官或ハ坂西少將ヨリ直接顏總長ニ申込ムコトハ適當ナラス去リトテ今公使ヨリ顏總長ニ宛テ之ヲ切り出スコト使ニ對シテ問題ヲ切り出シタル場合ニ夫レト無ク了解ヲ求ムル位ニテ止ムルヲ至当ナリト考フ

外交總長カ既ニ本件ニ関シ了解アルコトハ去ル十二月二十七日唐在章ヨリ坂西少將ニ話シタルコトアリ又斬總長ハ一両日中ニ余晋蘇^(註)ヲシテ東支鐵道沿線駐兵ノ件ハ既ニ外交部ノ諒解ヲ得タル旨ヲ小官ノ許ニ申出テシムル筈ニナリ居ル故本件ハ之位ノ程度ニ於テ協定取消ノ手續ヲ取ルコトニ致シ度シ以上ハ公使、坂西、海軍武官共同意ナリ

註 斬總理ハ陸軍總長ヲ兼任ス

九 日中軍事協定廢棄ニ閔スル件 五八〇 五八一

五七九 十二月二十四日 東在中国日本公使館附陸軍武官宛（電報） 福田參謀次長ヨリ

東支鐵道沿線日本駐兵ニ閔シ顔外交總長ノ諒解確メ

五八一 十二月二十九日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨ
福田參謀次長宛（電報）

東支鐵道沿線駐兵ニ閔シテハ外交部及東三省諒解シ居ルニ付軍事協定廢棄ノ手續ヲ取リ度旨斬陸軍總長

ヨリ申出アリタル件

支第九一二号極秘

昨二十八日夕余晋蘇斬總長ノ使トシテ小官ヲ訪問シ東支鐵道駐兵ノ件ニ閔シテハ外交部及東三省ニ於テモ既ニ諒解ヲ得タルニ付再ヒ抗議スルコトナキヲ以テ軍事協定廢止ノ手續ヲ取りタシト申出タリ依テ小官ハ右諒解ノ件ハ我陸軍當局ニ電報シテ差支ナキヤト念ヲ押シタルニ余晋蘇ハ差支ナシト答ヘタリ依テ其手續ハ支八六九ノ通リトナスヘキ旨ヲ説明シ日支陸軍當局ニ於テ調印スヘキ覺書ノ件ニ就テハ既ニ其筋ニ請訓シアルニヨリ其回答ヲ俟テ返事スヘシト答ヘ置ケリ以上ノ次第二付駐兵諒解ノ件ハ之ニテ満足シ直ニ協定撤廃ノ手續ニ移ルコトト致シタシ右ハ公使及坂西少將、八角大佐トモ交渉スミニ付至急何分ノ御指示ヲ請フ尚本件ニ閔シテハ公使ヨリモ外務大臣宛電アリ